

学友報知

デジタル三月号

発行所
群馬県太田市八幡町16-7
県立太田女子高等学校
新聞部
電話(太田)(22)6651番

桐生の森林に新しい価値を

桐生市にある合同会社バリユー・フォレストの代表社員である武井沙織氏にお話をうかがった。



この写真以外の写真はすべて武井沙織氏に提供していただきました。

《武井沙織氏 略歴》

- ・昭和53年生まれ。群馬県桐生市立西小学校出身。群馬県立前橋女子高等学校卒業、岩手大農学部農林水産学科に進学。
- ・大学卒業後は青年海外協力隊に応募し、中米のニカラグアで2年間暮らす。
- ・帰国後、一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会に入社。パキスタン、ケニア、ルワンダ、中国、フィリピン、イラン、マラウイ、モンゴル等で専門家として仕事に勤しむ。
- ・2021年に独立し、合同会社バリユー・フォレストを設立。

★大学卒業まで

幼少時は山の近くで育ち、近所の小川で遊ぶこともありました。大学は農学部を選びました。実学は社会に運動して学問が変わってゆく部分があり、学科名も変わってゆきます。かつて日本で盛んだった林業が衰退するのに合わせて、他大学も林学科という名前をどんどん変えていった狭間の時代でした。大学を卒業する頃は就職の大氷河期時代で、就職先がほとんどないという状態でした。その頃大きな話題だったのはアメリカで起きた

★青年海外協力隊の経験

9・11の同時多発テロと、バミヤンの遺跡がタリバンによって破壊されたこと。世界ではこんなことが起きていたのかと思ってきました。大学卒業後は桐生の実家に戻り、海外に興味があったことから、青年海外協力隊に応募しました。

★ニカラグアでの活動

ニカラグアは中米にある国です。ニカラグアは日本から遠いと思うでしょうが、狂牛病が騒ぎになった時期はニカラグアで

★一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会での経験

ニカラグアから帰国し、海外での仕事をしたいと考えていたところ、大学の先輩の声掛けにより入社が決まりました。JICAの自然環境保全の活動として、開発途上国内などで植林だけでなく環境保全に関する様々な支援事業などを行いました。林野庁のプロジェクトファインディングという、日本の技術



フリホーレス畑 (ニカラグア)

★国際協力コンサルタンツという仕事は、現地に行く前に情報収集をしっかり行うことが重要です。

ニカラグアから帰国し、海外での仕事をしたいと考えていたところ、大学の先輩の声掛けにより入社が決まりました。JICAの自然環境保全の活動として、開発途上国内などで植林だけでなく環境保全に関する様々な支援事業などを行いました。林野庁のプロジェクトファインディングという、日本の技術

★モンゴルの遊牧民が暮らす移動式住居の中で調査をしました。

年間1600mmであるのに対して、モンゴルは400mmで、砂漠地帯は200mm以下。北の方に行くと森林があるけれど、南部にむけて砂漠になっていきます。山羊や羊を放牧しています。夏は毛刈りをして、冬は現地に行けないくらい寒いですが、ゲル(注:モンゴルの遊牧民が暮らす移動式住居の中で調査をしました。貧しい国というわけではなく、遊牧民はもっとマイトフォレストによる草地の荒廃が問題で、モンゴルの少ない降水量でも生える植物を植えるを試みしました。カナガラという、2mくらいの株立ちするような灌木を植林したら、家畜の飼料にしたらどうかというプロジェクトです。粒状のペレットに加工することも検討していました。マラウイは私の渡航した国の中で最貧国でした。乾季は長い



NGO との市内緑化 (ニカラグア)



ゲル内での調査 (モンゴル)

ですが、雨季には結構降る(注:年間降水量は800mm)から高い木もあります。でも大量に伐採してしまう人がいる。首都なの炭で料理してました。JICAのプロジェクトは国との契約で実施するから大規模な取り組みができます。まず広域での森林の調査をし、実際にどういう活動が必要かを個別の専門家が現場、技術協力プロジェクトをコンサルタンツが継続してつくります。プロジェクトを普及させるために、有名な現地のアーティストの方にテーマソングを作ってもらったり、ロゴや映像を作成したり、テレビやラジオで広報活動をしました。ただ森林を植えるだけではなく、蜂蜜づくりもしました。1年で取れるから喜ばれるのです。違法に炭作りをする人は武器を持っていて、軍隊



ナラ林の間を羊、山羊が歩いた跡が見える (イラン)

にお願いして取り締まりをしてもらいました。炭を作る窯を作れば合法にしたりもしました。

イランは地中海性気候で冬は雪が降りますが夏は雨が降らず乾燥しています。公用語はペルシャ語で、国の言語をしっかりとっています。山羊や羊の放牧をし、森林には灌木が多いです。プロジェクトは、国レベル、州レベル、町レベル、住民レベルなどで成果を求められま

いた。周知活動がとも重要でした。イランの女性は自由にお金を使いづらく、クレジット(注:無担保で小口の融資をする金融サービス。国際協力のアイテムのひとつである)も活用していません。プロジェクトには様々な方が関わっています。JICA事務所職員や、大使館、現地の公務員、通訳、村長、住民たち

です。それぞれ立場でプロジェクトに関わり森林保全を目的としていますが、自分や周りの人の生活と人生を優先する場面が多かったです。仕事でも、子供が貧乏で熱したらずで出かける土が流れてしまっている。浸食がひどい面と悪い面があるため、生活を中心に柔軟に仕事をしています。野生のセロリみたいな、日本でも山菜を植えてもらい、荒地をつくらないようにしました。ワークシヨップと

ました。イランの同僚には仕事ばかりしている日本人ばかりしいと言われたことあります。現地ではトップダウンで行政を実施していましたが、なるべく住民参加型になるような努力をしました。異文化に入っていくわけだから、様々な国で彼らのタブーに触れてしまわないように気を遣い、現地の人に任せる部分もありました。外交上の問題でプロジェクトが変更になったり中断したりすることもありました。

イランには10年以上関わりましたが、コロナ禍でイランにはいられなくなり、リモートワークで今後の生活や仕事について考えるようになりました。日本の地方にも課題が山積している。地元である桐生の梅田の山林で資源の活用や事業化をしようと、起業を検討するようになりました。



女性によるマイクロクレジット活動 (イラン)

海外に行くと思っただのは、人も資源で人口が多い方がやっぱり国の力が強いのかなということ。日本は人口が多いです。日本の森林では中山間地域(注:平野の周辺部から山間部に至る、平坦な耕地が少ない土地)が一番多く、国土の約7割を占めています。先進国の

でも森林は多い方は、木の種類が多いです。山間地域というものは、森林の多面的機能の発揮に重要な役割を負う地域です。景観も美しく文化や歴史も美しですが、働き手も減少してきて、空しいのかなとずっと思っています。畜産や耕作放棄地、獣害や病虫害の発生などが問題になってい

ます。中山間地域というものは、森林の多面的機能の発揮に重要な役割を負う地域です。景観も美しく文化や歴史も美しですが、働き手も減少してきて、空しいのかなとずっと思っています。畜産や耕作放棄地、獣害や病虫害の発生などが問題になってい

ます。中山間地域というものは、森林の多面的機能の発揮に重要な役割を負う地域です。景観も美しく文化や歴史も美しですが、働き手も減少してきて、空しいのかなとずっと思っています。畜産や耕作放棄地、獣害や病虫害の発生などが問題になってい

本々の常識は世界の常識ではないということ。常識というものは、常識その文化でしか通じないものと分かってきました。森林は気候や土壌、地形で異なることや、木材だけでは無い林業の可能性に気づくことができた。海外では終身雇用ではなく、ジョブ型雇用も多いです。多様な人生の考え方に会えて、生活と仕事の関係は柔軟で良いのだと思いました。様々な国の多様な森林に触れ、その国の事情を肌で感じることで、固定概念から解放されて、周りを理解し、信じて待つことが重要だと学びました。

今までの人生でいろいろな経験をしてきましたが、無駄はないと感じていません。大学卒業の頃は就職氷河期で、なぜ就職できないのかと悩んだりもしましたが、今になってみると一般の企業に就職しなくて良かったです。海外に行ってみ



山村の豊かな自然・水 (桐生市梅田)



梅田茶生産組合との協働による和紅茶の製造



柚子を使った商品の開発 (柚子うどん)

新聞部 部員募集中!!
文系・理系、学年問いません!!!